

茨城県

# 育成会だより

第 132 号

発行日 平成 29 年 7 月 10 日  
発行集 茨城県手をつなぐ育成会  
編集委 広 報 委 員 会  
事務局 〒 310 - 0851

水戸市千波町 1918  
茨城県総合福祉会館内  
☎ 029 - 243 - 3838  
FAX 029 - 243 - 3854

URL: <http://business4.plala.or.jp/iibaiku/>  
e-mail: [iba-ikuseikai@bz03.plala.or.jp](mailto:iba-ikuseikai@bz03.plala.or.jp)



ブルーベリーの鉢植え そろそろ収穫できます



あじさい福祉園 れるび全景



れるびの手芸品コーナー



絵手紙作成中

社会福祉法人河内厚生会

「あじさい福祉園 れるび」

施設長 大関 崇夫

平成二十八年四月、茨城県の県南部利根川沿いの河内町に、多機能型事業所(生活介護・生活訓練)と知的障害者のグループホーム「れるび」を開設しました。れるびの名前の由来は、あるがままになるがままに生きよう！ビートルズの「I'm a walrus」からです。良く聴くと、れるびと聞こえます。

れるびの一日は、体力作りから始まります。毎日午前中一時間はウォーキングします。雨の日は、体育館を歩きます。日頃の成果かな？河内町育成会主催の鎌倉散策コースも快調に飛ばしてゴールできました。メンバーさん、自信が出来たようです。午後は、多種の創作活動にチャレンジしています。メンバーさん達の隠れた才能を引出し磨けたらと取り組んでいます。

数年前から、河内町育成会では、本人余暇活動に力を入れています。絵手紙作りもだいぶ上手になり作品を展示しています。観る人の心を動かす力。これもありのまま！フライングディスクも毎年大会に出場しメダルを狙っています。県の強化選手に成長するメンバーもいます。まさに継続は力なり。サポートの会員さんの力ですね。感謝いたします。

最後に、開設にあたっては、多くの人達に力を借り実現することが出来ました。これからも感謝の気持ちを忘れずに、メンバー達の成長を感じながらチャレンジして行きたいと思えます。



# 県育成会を“一般社団法人”へ

—— 9月にも設立の方向 ——

## （評議員会で29年度事業計画を決定）

6月5日10時から、水戸市の県総合福祉会館で、一般団体の「総会」に相当する、県手をつなぐ育成会の「評議員会」が行われ、28年度事業報告・決算報告および29年度事業計画案・収支予算案が出席者全員の賛成で承認されました。さらに、第6号議案として、「県手をつなぐ育成会の法人化について」が提出されました。これは、1年前から準備が進められてきた事業で、「当育成会が、新しい時代のニーズに応えて、法的責任を明確化し社会的信用を高めるとともに、組織を強化し、一層の活動の充実を図るため、一般社団法人化しよう」とするものです。本件も、いくつかの真摯な質疑応答ののち、全員の賛成で可決承認されました。

なお、会議の冒頭、来賓として出席された、県保健福祉部障害福祉課・松山和規課長および教育庁学校教育部特別支援教育課・岩田利美課長から、日ごろの育成会の活動を高く評価しており、今後ともますます期待をしている旨の激励のあいさつがありました。

## （“一般社団法人”設立総会を行う）

午後1時から、一般社団法人「茨城県手をつなぐ育成会」の設立総会が、発起人代表としての矢野会長の議長の下、滞りなく行われました。今後、法人設立のためさまざまな手続き・準備を経たのち、9月～10月中に県・税務署等へのすべての設立届が完了する見通しです。

そこから、県育成会の新しい歴史が始まることが期待されます。

平成29年度 茨城県手をつなぐ育成会  
評議員会



矢野会長のあいさつ

## 29年度事業計画の概要

### 1. 基本方針の概要

#### （基本主題）

あたりまえに暮らせる社会の実現 自立支援と就労支援の推進 本人の権利擁護と意志の尊重

#### （年度テーマ）

新たな障害者制度改革への対応 市町村格差のない障害者福祉の実現 地域育成会への充実した情報提供  
特別支援学校等との連携強化 育成会活動の活性化と会員の拡大  
全国障害者スポーツ大会「茨城大会」への協力と参加の推進

### 2. 組織の強化

- ・評議員会（一般社団法人設立後は総会に移行）：本会の最高議決機関として、年度の事業・予算等を審議し、議決する。
- ・理事会：評議員会に諮る事項の調整および評議員会で決定された事項を執行する。
- ・委員会：前年度からの5委員会を継承する。
- ・足腰の強い育成会組織となるよう、地域育成会との連携を強化する。
- ・関連機関・団体との連携強化。特別支援学校保護者との交流事業の推進。特別支援学校との交流にも取り組む。

### 3. 県・市町村への要望活動

- ・会員の意向や悩み、地域が抱える課題について、県や関係機関に対して積極的な要望活動を行う。
- ・市町村障害福祉担当課との意思疎通の促進

### 4. 財政基盤の確立

- ・「心のとも運動」のより活発な啓蒙活動と実施 ・賛助会員の検討実施

### 5. 事業活動

変化する障害福祉制度などの理解を深めるとともに、会員の質的レベルアップを図るため、質の高い研修会を積極的に開催する。

### 6. 育成会茨城大会の開催および全国育成会連合会大会・開プロ大会等への参加

### 7. 本人活動への支援

障害者の福祉増進を図り、生きがいづくり社会参加等を促進するため次の事業を行う。  
ボランティア活動参加促進事業の実施・本人部会交流会・障害者教育活動に対する支援等

### 8. スポーツ・文化行事への参加

県スポーツ文化協会が行う事業に参加し、障害者の自立と生きがいづくりを支援する。

### 9. 社会啓発活動と情報提供

- ・会報「育成会だより」の年3回（7・12・3月）発行
- ・全国手をつなぐ育成会連合会・関係機関・団体等からの情報収集と会員への提供

### 10. 茨城県障害者権利擁護対策推進事業

県からの委託を受け、相談者を配置し、①「障害者なんでも相談室」②「茨城県障害者権利擁護センター」を運営する。26年度運用開始。

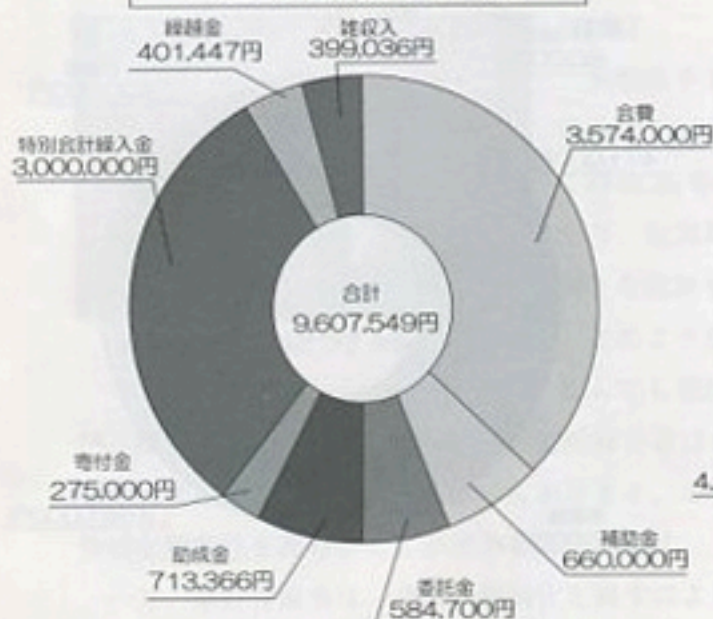
### 11. 茨城県障害者権利条例推進事業（特定相談）（県からの受託事業）

県からの委託を受け、障害のある人に対する差別に関する相談に応じ、関係者間の調整や関係機関との連携を図りながら差別の解消に取り組むため、「茨城県障害者差別相談室」を設置し運営する。27年度運用開始。

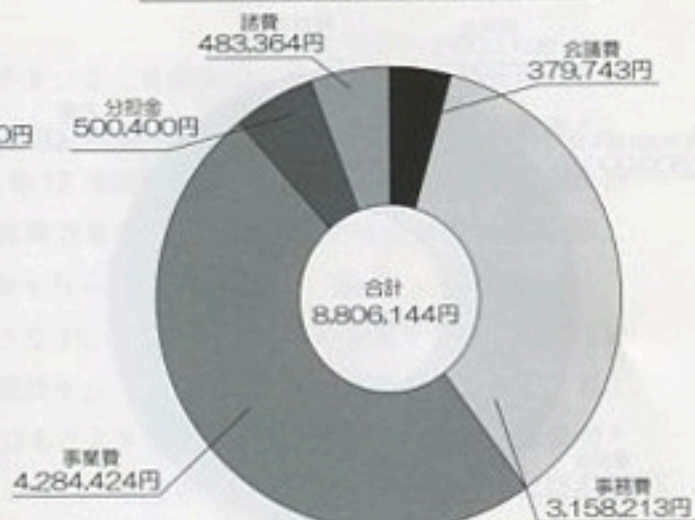


# 平成 28 年度決算報告概要

一般会計収入の部グラフ



一般会計支出の部グラフ



期間 自：平成28年4月 1日  
至：平成29年3月31日

【一般会計収入の部】

単位：円

款 項	決 算 額	割 合
会 費	3,574,000	37.2%
補 助 金	660,000	6.9%
委 託 金	584,700	6.1%
助 成 金	713,366	7.4%
寄 付 金	275,000	2.9%
特別会計繰入金	3,000,000	31.2%
繰 越 金	401,447	4.2%
雑 収 入	399,036	4.2%
計	9,607,549	100%

【一般会計支出の部】

単位：円

款 項	決 算 額	割 合
会 議 費	379,743	4.3%
事 務 費	3,158,213	35.9%
事 業 費	4,284,424	48.7%
分 担 金	500,400	5.7%
諸 費	483,364	5.5%
予 備 費	0	0.0%
計	8,806,144	100%

【特別会計収入の部】

単位：円

款 項	決 算 額
啓 発 事 業 収 入	2,595,928
繰 越 金	4,289,924
雑 収 入	1,012
計	6,886,864

※啓発事業収入（心のとも運動）

【基金特別会計収入の部】

単位：円

款 項	決 算 額
繰 入 金	500,000
雑 収 入	2,843
計	502,843

【基金特別会計支出の部】

単位：円

款 項	決 算 額
繰 出 金	0
計	0

【特別会計支出の部】

単位：円

款 項	決 算 額
事 業 費	3,779,828
予 備 費	0
計	3,779,828

【基金】

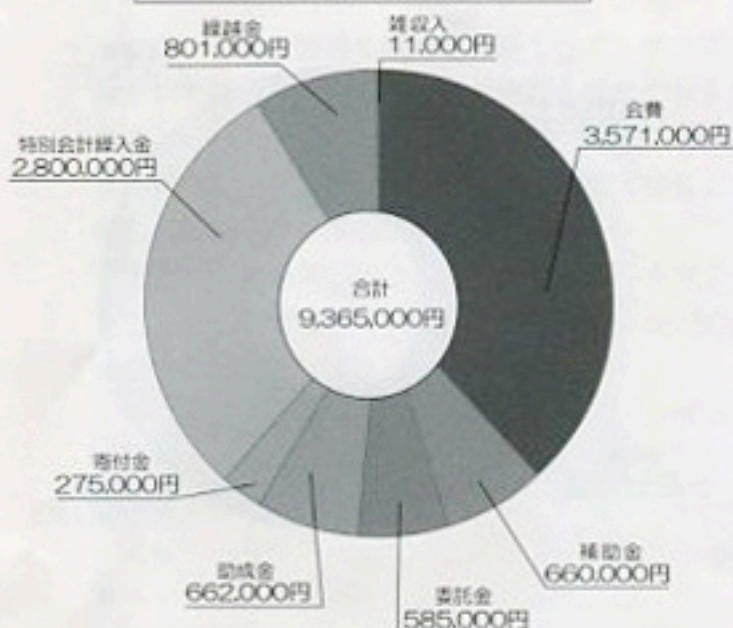
単位：円

平成28年度末現在高	14,741,396
------------	------------

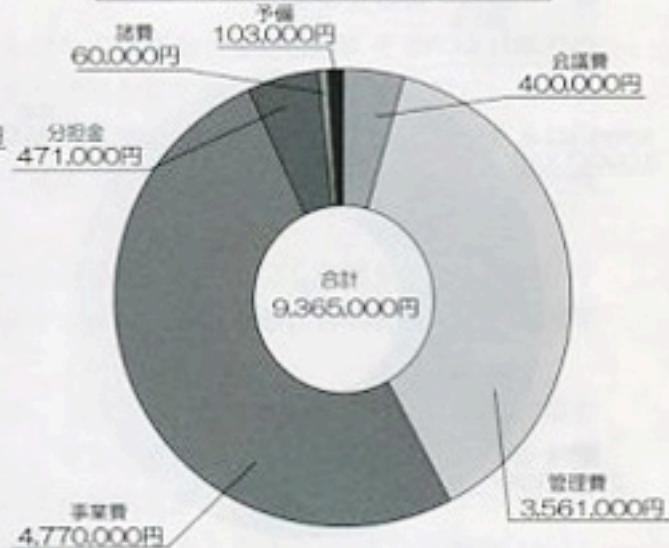


# 平成 29 年度予算概要

一般会計収入の部グラフ



一般会計支出の部グラフ



期間 自：平成29年4月 1日  
至：平成30年3月31日

【一般会計収入の部】

単位：円

款 項	予 算 額	割 合
会 費	3,571,000	38.1%
補 助 金	660,000	7.0%
委 託 金	585,000	6.2%
助 成 金	662,000	7.1%
寄 付 金	275,000	2.9%
特別会計繰入金	2,800,000	30.0%
繰 越 金	801,000	8.6%
雑 収 入	11,000	0.1%
計	9,365,000	100%

【一般会計支出の部】

単位：円

款 項	予 算 額	割 合
会 議 費	400,000	4.3%
管 理 費	3,561,000	38.0%
事 業 費	4,770,000	50.9%
分 担 金	471,000	5.0%
諸 費	60,000	0.6%
予 備 費	103,000	1.1%
計	9,365,000	100%

【特別会計収入の部】

単位：円

款 項	予 算 額
啓 発 事 業 収 入	2,470,000
繰 越 金	3,107,000
雑 収 入	1,000
計	5,578,000

※啓発事業収入（心のとも運動）

【基金特別会計収入の部】

単位：円

款 項	予 算 額
繰 入 金	200,000
雑 収 入	1,000
計	201,000

【基金特別会計支出の部】

単位：円

款 項	予 算 額
積 立 金	201,000
計	201,000

【特別会計支出の部】

単位：円

款 項	予 算 額
事 業 費	3,300,000
予 備 費	2,278,000
計	5,578,000

【基金】

単位：円

平成29年度末現在高見込額	14,942,000
---------------	------------



## 県育成会の〈一般社団法人格〉取得について



設立総会であいさつする矢野会長

### (経緯)

茨城県手をつなぐ育成会は、地域・学校・福祉施設等の単位手をつなぐ育成会および関係機関による連合組織として昭和36年12月に創設され、以来今日まで半世紀余にわたり、知的障害者の福祉向上と共生社会の実現を目指し、様々な活動を行ってきました。

このような中、近年は、県からの委託を受けて「障害者なんでも相談室」、「茨城県障害者権利擁護センター」および「障害者差別相談室」を設置し、知的障害者はもとより、全ての障害者の相談に応じる機関として重要な役割を担う団体となっております。これらの事業を円滑に実施していくためには、社会的な信頼性を高めることが求められています。

一方、単位育成会は、会員の高齢化と減少により、親なきあとへの対応や若い会員の加入促進が重要な課題となっております。そして、これらの課題に適切に対応していくためには、県育成会がリーダーシップを取り、育成会活動の重要性を訴え浸透させていくとともに、障害のある人とその家族にとって、期待と希望が持てる魅力ある取り組みを実施していくことが必要です。

こうしたことから、当育成会は、法的責任を明確化し社会的信用を高めるとともに、組織を強化し、一層の活動の充実を図るため、一般社団法人化することといたしました。

### (法人移行による変化)

一般社団法人になると、法務局への、定款・役員等の変更届や毎年度の財務諸表の報告等の義務が発生しますが、会員にとりましては、大きく変化することはありません。一つだけ、大きな変更となるのが、これまでは、最終議決機関は「評議員会」でしたが、一般社団法人では「社員総会」になります。社員総会では、各単位育成会の代表者のみが議決権を有しており、代理出席は認められません。また、役員であっても、単位育成会の代表者であれば、社員総会での議決権を有することになります。

### (法人設立までの手続き)

平成29年6月5日開催の評議員会および一般社団法人設立総会の双方で、満場一致で一般社団法人の設立が承認されました。

今後は、設立総会で決定した「定款」を、公証役場に提出し、公証役場の認証を受けます。

定款の認証を受けた後は、その定款に役員<sup>ていぎん</sup>の就任承諾書等を添付し法務局へ設立登記申請を行うことで、一般社団法人設立となります。順調に手続きが進めば、9月頃には登記が完了する見込みです。

(事務局長 小森 廣之)



小森事務局長による定款の説明



## みなさんに関心あるテーマの研修をめざして！！

研修委員長 高橋 等

毎年、委員会活動を始めるにあたって、常に手をつなぐ育成会会員にむけ、そして会員以外の障がいを持つ人の家族に必要な情報を提供できるかを委員会にて検討します。その際に、他の委員会と内容が重複しないよう、また、県内で行われている講演会、研修会等でひろく皆さんに伝えたほうがよい内容がないか、同じ演題でも視点を変えて、講演を依頼できないか、委員会で決定し、研修会の準備に入ります。

また、研修委員会では、育成会活動内容を多くの会員以外の人たちにも情報を提供し、県手をつなぐ育成会を知ってもらい、ともに育成会活動をすすめられないかと、特別支援学校にも毎年情報を提供しています。

今年3月の講演会テーマ「障害のある子の家族が、知っておきたい「親なきあと」」が育成会会員はもとより、特別支援学校PTAの皆さんが常に考えておられることとマッチしたのか、支援学校からの参加者も多くみられ、全体で200人以上の参加者がありました。

これからも皆さんの関心があるテーマにそった研修が行われるよう、広い視野で情報を収集し、皆さんに提供できればと思っています。

講演会の開催のみが研修委員会の活動ではありません。他の委員会の活動協力も大事な委員会活動ですので、必要がありましたらお声がけをいただきたいと願っています。ご協力をお願いいたします。



講師・行政書士 渡部 伸 氏の熱弁



研修後の質疑応答



参加者 200 名を超えた 3 月の研修会



## 特別支援学校紹介

茨城県内の特別支援学校を順次紹介していきます

### 茨城県立美浦特別支援学校（稲敷郡美浦村）

本校は、競走馬で有名な JRA 美浦トレーニングセンターから北西約 6 km、ブロンズ立像としては全高 120m で世界最大の牛久大仏から北東に約 7 km に位置する、創立 31 年目の知的障害特別支援学校です。

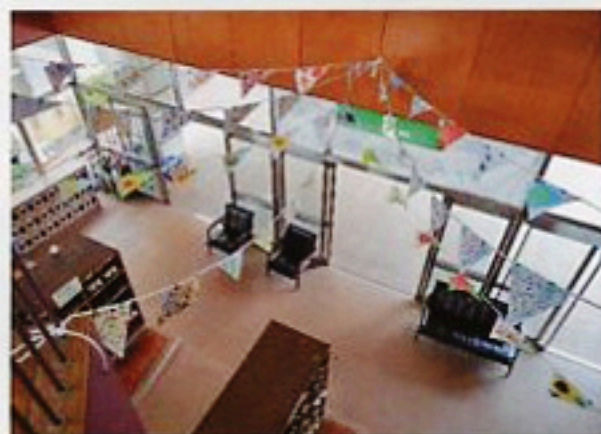
通学区域は、茨城県県南地域の龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、美浦村、阿見町、河内町、利根町の 3 市 3 町 1 村の 7 市町村で、児童生徒数は、小学部 74 名、中学部 76 名、高等部 102 名の合計 252 名です。

今年度の学校のスローガンは「やってみよう、自分らしく、自分から ～ We are shining stars ～」で、家庭と学校が協働し、一人ひとりの児童生徒の特性に合った支援をすることで、さらなる成長を願い、日々の教育活動に励んでいます。また、PTA 活動が盛んで、特に地域ごとの活動では、行政の方の協力を得ながら、意見交換会、研修会、親子遠足、地区文化祭への参加などが活発に行われています。

昨年度は創立 30 周年を記念して、児童生徒を中心にした活動に取り組みました。記念誌、記念品、ロゴマーク、三角フラッグ、のぼりの作成や記念スポーツ大会、記念式典の実施など様々な活動をとおして、児童生徒一人ひとりが役割を果たすことができました。また、より良い教育環境のために「南棟」が増築され、活用されています。



記念式典には、茨城県の「ハッスル黄門」、牛久市の「ラク」、龍ヶ崎市の「まいりゅう」、稲敷市の「いなのおすけ」、阿見町まいあみ祭りのキャラクター「ピースとさくら」が、お祝いにかけつけてくれました。



児童生徒、手作りの三角フラッグを校舎内に飾り、30 周年をお祝いしました。



平成 28 年 9 月より使用を開始した「南棟」。南側に面し明るい教室が自慢です。



## 行事予定 (7月～3月)

月	日(曜日)	行事予定	月	日(曜日)	行事予定	
7月	10(月)	育成会だより132号発行	10月	28～30	第17回全国障害者スポーツ大会(愛知県松山市ほか)	
	22(土)	第51回手をつなぐ育成会関東甲信越大会千葉大会(松戸)		11月	24(金)	権利擁護委員会研修会(県総合福祉会館)
8月	27(日)	本人部会交流会(アクアワールド茨城県大洗水族館)	26(日)		本人部会交流会(開催地等未定)	
9月	上旬	第24回ほほえみカップミニサッカー大会(笠松運動公園)	12月	7～11	ナイスハートふれあいフェスティバル2017 ナイスハート美術展(12/7～11) 発表会(学校教育の部)(12/8) 発表会(一般の部)(12/8)	
	17・24(日)	第55回茨城県身体障害者スポーツ大会(ひたちなか市総合運動公園ほか)		10(日)	育成会だより133号発行	
	22(金)	権利擁護委員会研修会(県総合福祉会館)		2月	16(金)	知的障害者相談員研修会(県総合福祉会館)
	23～24	第4回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会北海道札幌大会(札幌市)			3月	1(木)
10月	20(金)	知的障害者相談員研修会(県総合福祉会館)	10(土)	育成会だより134号発行		
	26(木)	第55回茨城県手をつなぐ育成会茨城大会(県民文化センター)				

## ゆうあいスポーツ大会に感動!!

石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会 上野 範子

5月28日、笠松運動公園で開催された「ゆうあいスポーツ大会」に参加しました。本人にとってはレクリエーション競技に参加する楽しみもさることながら、学校時代のお友達に会える嬉しさもあります。「久しぶりだね」と声を掛けあう光景が見られました。

開会直後の絵合わせ競技では、橋本知事さんが関く傘に一喜一憂。最後まで残った人は満面の笑顔でした。

団体競技では、皆と力を合わせて頑張る姿に感動しました。応援している側も力が入りチームカラーを大声で叫んでいました。

アトラクションには素敵なゲストが登場しました。歌のお姉さんの大和田りつこさんとシンガーソングライターの磯山純さん。会場が一体となって歌とダンスに大盛り上がり。2年後の「いきいき茨城ゆめ大会」のキャラクター「いばラッキー」も応援してくれました。

この団結力と盛り上がりが、ゆめ大会成功の糧になることを期待します。



## 編集後記

6月5日、評議員会のあと、法人化の設立総会が開催され、一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会となります。5ページの記事をご参照下さい。

これからは、県育成会・単位育成会の活性化と情報網(ホームページ)の内容の拡充を広報委員会でも、検討してゆきたいと思います。

皆さんからのご意見・ご希望をお待ちしております。

(川内)